



種名：トウヨシノボリ類 *Rhinogobius sp. OR unidentific*

分類：在来種（複数種が存在）純淡水魚

○大きさ

- 成魚：4～8cm

○生息箇所（すみか）

- 利根川下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。
- 流れの緩やかな場所を好みますが、選択できる場所が広い種です。

○生態（どんな生活をしているか）

- 雑食性(ざっしょくせい)で付着藻類(石等に生えるも)や小型の底生動物(アカムシやケンミジンコ等)を食べる。
- 春から初夏(5～7月)に他のヨシノボリの仲間と同様に石等の障害物の下に卵をうみつけます。

○釣りや漁業

- 利根川では釣りや漁業の対象にはなっていません。

○地域利用

- 自然観察や研究対象として扱われることはありますが、食用としては利用されていません。
- トウヨシノボリを含むヨシノボリの仲間にはたくさんの種類がいます。その中で旧カズサヨシノボリ、旧オウミヨシノボリ等、明らかにすがたがちがっていても、DNAで見ると同じ種となることがあります。みためでは判断(はんだん)がつかないため、それらを総称してトウヨシノボリ類としています。
- ちなみに、ゴリ押しゴリはヨシノボリのことです。きになったらしらべてみてください。